

佐久市佐久っと支援金事業 自己評価報告書

		評 価 日	2025年 3 月 17 日
団 体 名	グランマ佐久平		
事 業 名	移住者と地域住民との集いの場		
事業経費③	504,244 円	支援金額⑨	205,000 円

事業の目的・内容	地域の課題 近年、移住者が増えつつある佐久市の中で、地元住民と移住者との間で気軽な交流の場が少なく移住者が孤独を抱えやすく、そういった風潮が強まると佐久市の人口流出に繋がり更には少子高齢化による地域活力の低下も考えられる。
	事業内容 ①移住者サポート②アートと文化の促進③子育て支援と教育の場の提供④食と農の振興⑤健康促進とライフスタイルの向上の5つを柱とし、上記の地域課題を解決し、安心安全な場でゆったりとした時間を過ごせるつどいの場を設ける。地域住民が主体的に動き、芸術や文化を楽しみながら交流し、食・農・健康の向上を図るようなイベントを行う。

事業の活動実績	2024年度	講座	その日の内容
	4月	農作業・農産物加工年間計画 チラシ作成入門① 抹茶と和菓子のつどい 健康・食について 食育 米粉&発酵スイーツ講座	4月の目玉イベントは、米粉&発酵スイーツ講座。佐久市に移住してこられた方で、料理教室を開いてみたいという方のトライアルの場として開催。同じような移住者の方々も参加していただき良い交流の場となった。
	5月	障子張り&紙芝居の会 チラシ作成入門② WEBデザイン作成入門① 茶道はじめてさんのお点前 英語茶道・英語に触れる空間を体験	前月に引き続き、文化交流のための茶道会に加えて英語を使った茶道教室を行った。また近年では珍しくなった紙芝居の鑑賞会と障子の張り替え会を行った。
	6月	古来の調べ WEBデザイン作成入門② 茶道 チラシ作成入門③ 英語茶道 泉小茶道指導 巨大クラフト紙の森をつくって遊ぼう	元佐久市のこども未来館の館長でもあり、現在はケミカルエンターテイナーとして活躍している、なおやマンさんを講師として、佐久市の老舗クラフトバックメーカーの鈴与マタイ様の協力を得て、今年度最大のイベントを行った。たくさんの子育て世代の方々が繋がるいい機会となった。
	7月	茶道 チラシ作成入門④ 手作りみそ・豆腐講座	古民家にて地産の豆腐と手作りの味噌の食べ比べを行い、佐久地域の地産になった。
	9月	新鮮野菜と農家のおはなし WEBデザイン作成入門③ 茶道	佐久市で無農薬農業を営んでいる農家さんを招き、農業・地域・食の話で交流を行った。
	10月	茶道 チラシ作成入門⑤ 泉小茶道 インド西ベンガル州コルカタにて インド西ベンガル州コルカタにて 泉小茶道	6月に泉小学校の生徒に茶道指導を行った後も継続的に茶道での文化交流を行っている。古民家にてインドの写真展を開催し、撮った写真の展示を通して、旅の話聞き、違った角度で地域の文化に目を向けるいい機会となった。
	11月	茶道 WEBデザイン作成入門④ 福祉のお話	普段、佐久市の福祉を現場で見ている方のお話を聞くことでよりリアルな地域を知り意見交換することができた。
	12月	持続可能な共生社会づくり WEBデザイン作成入門⑤	持続可能な地域コミュニティの在り方について学ぶことで、来年度へ向けて目指すところを地域の仲間と学ぶいい機会になった。
	1月	WEBデザイン作成入門⑥ 茶道 チラシ作成入門⑥	チラシ作成入門の最終回行った。チラシ作成に必要なツールから色彩理論や配色のコツまで役立つスキルを身につけることができ参加同士での交流が深まり、新たなコミュニティの形成にもなった。
	2月	WEBデザイン作成入門⑦ 茶道	今年度最後の茶道教室で、初回から参加している方は、基本のお点前を身につけて初心者へのサポートを行えるようになった。WEBデザイン作成入門ではチラシ作成入門と共通して参加者のスキルアップと地域住民同士で学ぶことで、強い地域に必要な自律性育成につながったと感じている。



別記様式第5号（6の2関係）〔2枚目〕

事業の成果・効果	私たちの目指すところは、地域住民が移住者・定住者関係なく些細なことでも相談できる安心安全な拠点を通して生まれる、文化や芸術・生活のことを教え合い学び合う交流の場による地域活力の向上である。今年度に5つの柱を定め、活動にあたってきた。それぞれの成果は以下の通りである。 ①移住者サポート 移住者のやってみたいの気持ちに答えるようなイベントの開催 （米粉＆発酵スイーツ講座・インドの写真展） 佐久地域の福祉で不安を抱える方に向けて福祉のお話会 ②アートと文化の促進 古楽を佐久市でやっている方々に古民家で演奏をしていただいたり、普段経験の機会が少なくなってきた障子の張り替えや紙芝居会等で、日常では触れることのないアートや文化で交流することができた。 ③子育て支援と教育の場の提供 泉小学校の学生との茶道による定期的な交流、子供との外出先が難しい梅雨時期に、なおやマン講師による、佐久市企業提供のクラフト紙を使った、紙のことを知れる教育ワークショップでは子供の教養も深まるいい交流の場となった。 ④食と農の振興 佐久市で作られた味噌と豆腐の食べ比べでは、佐久市のさらなる魅力に気付けるいい機会となった。また農家さんによるお話会では、たくさんの意見交換が行われた。 ⑤健康促進とライフスタイルの向上 定期的なイベントの場があることによって、普段交流することのなかった人々との交流により、前向きな化学反応が生まれており来年度が楽しみである。 全体的な効果としては、生業にするほど自信はないが誰かには披露してみたいといった一般の方々が挑戦できるグランマ佐久平の場によって自信や希望につながったり、イベントや拠点を通じて生まれたつながりが、前向きな力としてまた新たな交流へとつながっている。これは私たちが課題として地域活力の低下を改善するものになっていると感じている。
----------	---

自己評価	事業は申請どおり実施できた	1 できた 2 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった 自己評価を記入 細かな予定変更などはあったが、私たち団体の目指すところへは大きく、近づくことができたと考えている。
	事業の実施によって、期待した効果をあげることができた	1 できた 2 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった 自己評価を記入 安心安全な集いの場の提供・イベント開催の支援・文化の交流拠点としてたくさんの人と交わり少しではあるが課題である地域活力向上を図れた。
	実施計画書と実績報告書の活動費の内訳について	1 ほとんど同じ 2 多少の変更があった 3 大幅に変更している 主な理由（2、3と答えた場合のみ） 昨年、本格的に立ち上げた団体の為計画に対し思うように実行できないことがあったが、目的に対しては柔軟に動いていたと思う。
	その他、評価すべき点等	現在の佐久市は新しい移住者によって、多様なニーズや価値観が生まれており、様々な意見や主張がバラバラに存在する。教育機関や行政では解決しづらい問題も増加傾向にあると考えている。その中で、地域が主体となり地域内でコミュニケーションをとり問題解決の糸口が見えてくるこのような場は貴重であり、そのことが地域住民の満足度にもつながりいい循環が生まれてくると考えている。

※ 自己評価の欄は、番号に○を付けてください。評価は、客観的自己診断です。

今後の事業展開	2年目：前年度に引き続き、交流の場を開き多種多様なコミュニティの構築 3年目：自走に向けて、移住者サポート、農業体験プログラムの拡充 4年目：地域内の連携を強化し、事業の持続可能性を確保
---------	--

2024年度	講座	時間	その他
4/8	農作業・農産物加工年間計画	11:00～15:00	
4/10	抹茶と和菓子のつどい	12:00～16:00	
4/11	チラシ作成入門（5. 6. 7. 10. 11. 1月）	各講座終了前後	
4/16	健康・食について	11:00～15:00	
4/21	食育	18:00～21:00	
4/27	米粉&発酵スイーツ講座	9:00～12:00	
4/27	webデザイン作成入門（5. 6. 9. 11. 12. 1. 2月）	各講座終了前後	
5/12	障子張り&紙芝居の会	9:00～13:00	
5/17	茶道:はじめてさんのお点前	9:00～13:00	
5/18	英語茶道:英語に触れる空間を体験	12:00～16:00	
6/9	古楽の調べ	13:00～17:00	
6/14	茶道	9:00～13:00	
6/15	英語茶道	12:00～16:00	
6/25	泉小茶道指導	14:00～17:00	
6/29	巨大クラフト紙の森をつくって遊ぼう	9:00～16:00	
7/12	茶道	9:00～13:00	
7/14	手作りみそ・豆腐講座	9:00～16:00	
9/1	新鮮野菜と農家のおはなし	9:00～16:00	
9/6	茶道	9:00～13:00	
10/4	茶道	9:00～13:00	
10/8	泉小茶道	14:00～16:00	
10/19	インド西ベンガル州コルカタにて	9:00～21:00	
10/20	インド西ベンガル州コルカタにて	9:00～21:00	
10/29	泉小茶道	14:00～16:00	
11/8	茶道	9:00～13:00	
11/17	福祉のお話	9:00～12:00	
12/8	持続可能な共生社会づくり	9:00～16:00	
12/13	茶道	9:00～13:00	
1/17	茶道	9:00～13:00	
2/7	茶道	9:00～13:00	

米粉&発酵スイーツ講座

米粉や甘酒を使ってスイーツを
作ってみませんか？

お子様連れ、初めての方大歓迎！

【内容】

- 米粉甘酒スコーン
- 春の発酵パフェ
- ※ランチ付き

主催:グランマ佐久平

日時／2024年4月27日(土)

時間／10:00-12:00

場所／創練センター 1F調理室

(佐久市猿久保165-1)

費用／2,000円 (未就学児無料)

定員／4名



↓↓お申し込みは下記のInstagramから

グランマ佐久平について

古民家を活用した「食・農・健康」の
向上を図る様々なイベントを企画中。



@GRANDMA_SAKUDAIRA

はじめてさんのお点前 抹茶と和菓子のつどい

日時／2024年4月10日(水)

時間／開場13:00

場所／佐久市常田 グランマ佐久平



参加費／1000円

定員／6名

↓↓ 申込みは以下のインスタから



佐久平市民交流プロジェクト
グランマ佐久平



茶道

茶道は難しそうですが、お茶とお菓子を楽しむことがはじめの一步です。体験してみましょう。お点前が身につくと、お茶室の生花や掛軸にも目が向けられます。

グランマ佐久平とは…

芸術や文化を楽しみながら、食・農・健康の向上を図るようなイベントを開きます。古民家でゆったりとした時間をお過ごしください。



障子張り & 紙芝居の会



いまどきなかなか体験できない
障子張りを
古民家で体験してみませんか？
エモい紙芝居とともに
楽しみましょう

主催：グランマ佐久平

日時／2024年5月12日(日)

時間／10:00～12:00

場所／グランマ佐久平(佐久市常田)

参加費／500円

定員／親子5組程度



お申し込みは
インスタから ⇨



@GRANDMA_SAKUDAIRA

＊グランマ佐久平について

古民家を活用した「食・農・健康」の向上を図る様々なイベントを開催

はじめてさんのお点前 抹茶と和菓子のつどい

日時／2024年5月18日(土)

時間／13:00

場所／佐久市常田 グランマ佐久平



参加費／1,000円

定員／5名

↓↓申込みは以下のインスタから



佐久平市民交流プロジェクト
グランマ佐久平



英語茶道：お作法を学びながら英語に触れる空間を体験



海外からのお客様に、おもてなしができたからお茶室がなくても、おもてなしができたから正座が無理でも、おもてなしができたから

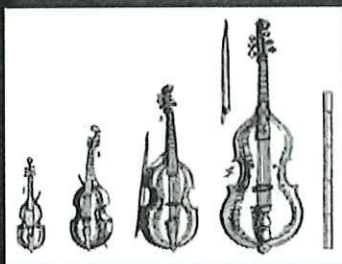


グランマ佐久平とは…

芸術や文化を楽しみながら、食・農・健康の向上を図るようなイベントを開きます。古民家でゆったりとした時間をお過ごしください。

古楽器の練習風景

普段目にする事の無い「古楽器」



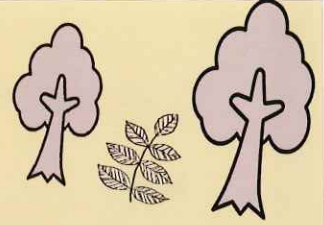
古楽合奏団が古民家で練習します。

ヴィオラ・ダ・ガンバの楽器を見てみたい
ヴィオラ・ダ・ガンバの音を聴いてみたい
柔らかく繊細な音色「高貴な楽器」を間近に

2024年6月9日(日曜日) 15時から
ダラマフタ平

PIC・COLLAGE

なおやマンの
ヘンテコペーパーワールド!



巨大クラフト紙の森を つくって遊ぼう!

【日時】

2024年6月29日(土)

午前の部 10:00~11:30

午後の部 13:00~14:30

【会場】

浅間会館 会議室1

(佐久市岩村田543)

【対象】

こどもと保護者

(小学3年生以下は保護者同伴をお願いします)

大人のみ参加も歓迎!

【当日の持ち物】

軍手・はさみ・スティックのり

申し込みは
こちら!

【参加費】

大人1名 500円

中学生まで 無料

【支払方法】

銀行振込(手数料はご負担ください)

または当日現金での支払い



【お問い合わせ先】

佐久市まちづくり支援金事業 グランマ佐久平

grandma39@googlegroups.com

【イベント内容】

紙の世界からやってきた「くら・ふとし」くんと遊ぼう!

紙はもともと木からできているんだ~。

ふとしくんと一緒にクラフトの森をつくって、

紙を森に戻してあげよう!

とっても大きな紙を使って好きなだけ破いて繋げて、

たくさんオリジナルの木とかをつくっちゃおう!

大きな木をつくったり、こども達を木に変身させるなど

お父さん、お母さんの大人の力が必要です! ぜひ大人の

皆さんも、こども時代に戻って、のびのびつくみましょう!



なおやマン 紹介プロフィール

経歴

学習院大学理学部化学科卒業後、
東京ガス（株）環境エネルギー館インタープリター（教育プログラムの企画実施）
を経て、2004年にケミカルエンターテインメントを設立。
全国各地で、「毎日の当たり前をワクワクに」する、
こども向けのステージショーやワークショップを展開中。
教育施設スタッフや教職員の研修、教育施設の竣工事業
（環境省 全国地球温暖化防止活動推進センターストップおんだん館、東京ガスがすてなーに など）
なども行っている。
前sakumo佐久市子ども未来館館長。
現在、佐久大学 信州短期大学部 福祉学科 子ども福祉専攻 非常勤講師、
佐久市子ども・子育て支援拠点施設運営検討有識者会議 会長など



主な受賞歴

2008年：2007年度エネルギー・コミュニケーター奨励賞受賞
（主催：経済産業省資源エネルギー庁）。
2010年：第1回キッズワークショップアワード優秀賞受賞。
2011年：第2回キッズワークショップアワード優秀賞受賞。
2019年：環境省 第7回グッドライフアワード実行委員会特別賞
「子どもと親子のエコ未来賞」受賞。



今回のイベントにクラフト紙を
寄付していただきました！

鈴与マタイ株式会社

佐久市中込に本社をおく、老舗クラフト紙袋メーカーであり、
金属製品、フレキシブルコンテナバッグ、
太陽光発電システムなど幅広い商品を取り扱う
メーカー兼商社の会社です。



グランマ佐久平とは？

2023年度より活動を始めた団体で、佐久市をもっと元気にしたいという思いの仲間
が集まって出来た団体です。

主に佐久平にある古民家で芸術・文化を楽しみながら、地域の輪を広げる活動を行って
おり、「佐久市まちづくり支援金事業」を活動費として、月一で食・農・健康の向上する
ようなイベントの開催をしています。

只今、一緒に活動してくれる仲間を募集中です。

【活動の様子】



インスタグラムはこちら↓



@GRANDMA_SAKUDAIRA



イシノ
kurumiwa

インド西ベンガル州 コルカタにて

インドの東部最大の都市コルカタで町や農村を訪ねて
二人の写真好きがそれぞれの視点で撮影した写真を展示します

10月19日 12:00~18:00 / 20日 10:00~14:00

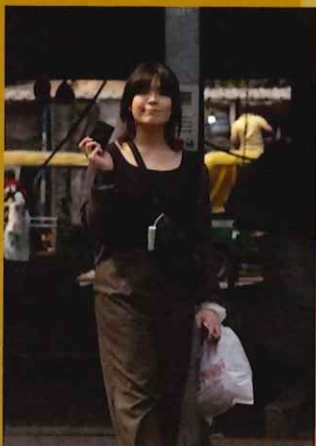
長野県佐久市常田356-1 GRANDMA佐久平

みうら くるみ

愛媛県西条市出身 軽井沢町在住

主要機材 RICOH GR/ FUJIFILM X-M1

見返す度にその時の情景から、
空気感や温度感・感情を掘り起こすことのできる写真という媒体が好き。
常にRICOHGRを持ち歩いています。
今回は2度目のインド旅。1度目のインドは大学2年生の時、はじめての海外旅でした。
コロナが明け久しぶりの海外旅、原点にして頂点のインドから再開できる喜びを噛み締め
経済成長による更なるカオスを感じながらの旅路になりました。
私が西ベンガルで感じた、香りや気温、感情を少しでも感じていただけたら嬉しいです。



杉本 美和

長野県木曽郡木祖村出身 佐久市在住

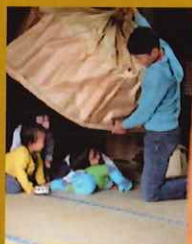
主要機材FUJIFILM XS-10 / FUJIFILM ZOOMDATE125SR

自分の視点の表現、まだ誰も見ていない誰かが見たかった風景を表現できることが
私にとって写真を撮る理由になっています。意識して写真を撮り始めたのは高校生の頃。
スマホが普及する中で、あえて写ルンですで撮っていました。
今は主にミラーレス一眼で撮っていますがあの時の気持ちのまま
1ショットを大切に日々楽しく写真を撮っています。
モノの見方は人それぞれですが、それを共有できる一つの手法が写真だと思っています。
今回はインドはコルカタの旅の様子をお届けします。
町で暮らす人、村で暮らす人、そこに暮らす人々にはとてもエネルギーがあり
自分の生活に誇りを持っているように見えました。私もそんなインドの人たちをリスペクトして
今回は街並みや田舎の風景、インドの人々の様子をお届けします。



GRANDMA佐久平とは？

芸術・文化を楽しみながら
月一で、地域で暮らす人が豊かになるような
イベントを開催しています。
佐久平にある古民家で、自分らしく
ゆったりとした時間をお過ごしください。



インド西ベンガル州 コルカタにて

10月19日 12:00~18:00 / 20日 10:00~14:00

長野県佐久市常田356-1 GRANDMA佐久平

入場料 100円

チャイとインドで教えてもらったカレーの振る舞いがあるかも...! (ドネーション制)
会場の詳細、駐車場の問い合わせは、右記いずれかのアカウントのDMへお願いします。



「やりたいこと」バックアップする組織に



『グランマ佐久平』



「グランマ佐久平」(川崎すみ子代表)は、佐久市の佐久平女性大学の第2期卒業生を中心に、それぞれの友人やさらに輪を広げた友人らが参加しているグループ。古民家を活用したイベントを通じて▽移住者のサポート▽アートと文化の促進▽子育て支援と教育の場提供▽食と農の振興▽健康とライフスタイル向上を目指している。

昨年、佐久市常田の古民家「かたり庵」で、佐久平女性大学の第2期生が集まって開いたティーパーティーがきっかけとなって発足。この「かたり庵」だった古民家を拠点に、今年4月から本格的に活動を始めた。米粉と発酵スイーツの講座や初心者向け茶道、障子張りや紙芝居の会、古楽器の練習風景見学、有機栽培に取り組み農家の話を聞く会など、おむね月ごとに様々な企画を立てて学びを深めている。

川崎代表によると、メンバーには理学療法士や歯科衛生士をはじめ、福祉関係に詳しい人など、それぞれ得意分野を持つ人が多いといい、「それらを生かして企画を立てている」という。

6月には、佐久市中

包装用紙袋を作った後に廃材となるクラフト紙を使い、子ども未来館前館長の「なおやま」を講師に招いたものづくりの体験ワークショップを開き、約60人の親子が参加。参加した子どもたちが、大量の紙を思い思いに破いたり丸めたりしてものづくりに挑戦する姿を見て、川崎代表は「自宅で遊ぶことはなかなかできない。そんな中でも、『やりたいこと』をバックアップしていく組織になればいい」と話していた。

「グランマ佐久平」の活動状況や告知などは同グループのインスタグラムで見られる。

気軽にすぐ電話！



★受講無料！三昧線こども教室 参加者募集
幼児から高校生と同伴の保護者が対象。会場は佐久創造館または中込橋場公会堂。土曜日の午後1時から3時。問い合わせは喜寿の会の戸塚(電話090・4756・1823)。

体に巻き巻き「木に変身！」

佐久 工場で余った紙使いイベント

工場で余った紙を使い、「紙の木」を作る親子向けの催しが29日、佐久市の浅間会館であった。市内で地域づくりに取り組む「グランマ佐久平」が企画。参加者は粘着テープで紙を貼り合わせて、高さ1mほどの木に仕上げた。全身に紙をまといて変身を楽しむもいた。

グランマ佐久平は、市の講座「佐久平女性大学」の20～60代の卒業生らが役員を務める。今春からは、同市常田の古民家を借りて楽器演奏や菓子作りなどを楽しんでいる。今回は「梅雨に子ども

が室内で楽しめる催しを開きたい」と構想。紙袋製造の鈴与マタイ(佐久市)に勤務するメンバーがいたため実現した。

紙は元々、セメントなどを詰める袋の材料で、余って廃棄される予定だった。体を紙にくるんで遊んだ同市平根小学校3年の若林楓土さん(8)は「本当に木になったみたい」と喜んだ。

グランマ佐久平代表の川崎すみ子さん(65)は「皆がほっとでき、くつろげる場を今後もつくりたい」と話した。



余った紙を使い、木に変身する子ども

夏休み 米で取材

熱心 企業

廃材クラフト紙を活用
親子で「木」作り

佐久市の佐久平女性大学を昨年度愛読した第2期生の有志を中心に、佐久市を元気にしようと活動する「グランマ佐久平」(川崎すみ子代表)は29日、浅間会館でクラフト紙を使ったものづくりの体験ワークショップを開いた。佐久市若林田の浅間会館で開いた。

親子でものづくりの楽しさを知ってもらいたいという企画

したイベントでは、前佐久市子ども未来館長で、現在は「なおやま」さんの、また、材料となるクラフト紙は、佐久市中込に本社がある「鈴与マタイ」が、包装用の紙袋を作った後、廃材は処分している部分を提供した。

参加者は、なおやまさんのアドバイスなども受けながら、クラフト紙を使って思い

3のアイデアを出しながら、保護者と一緒に「木」を作る体験をし、楽しんでいた。



(3) 2024年(令和6年)7月5日(金)

佐久地区障がい者

あり、この時は障がい者ナースを雇ったが、

佐